

# 入善町 議会だより

## No. 21

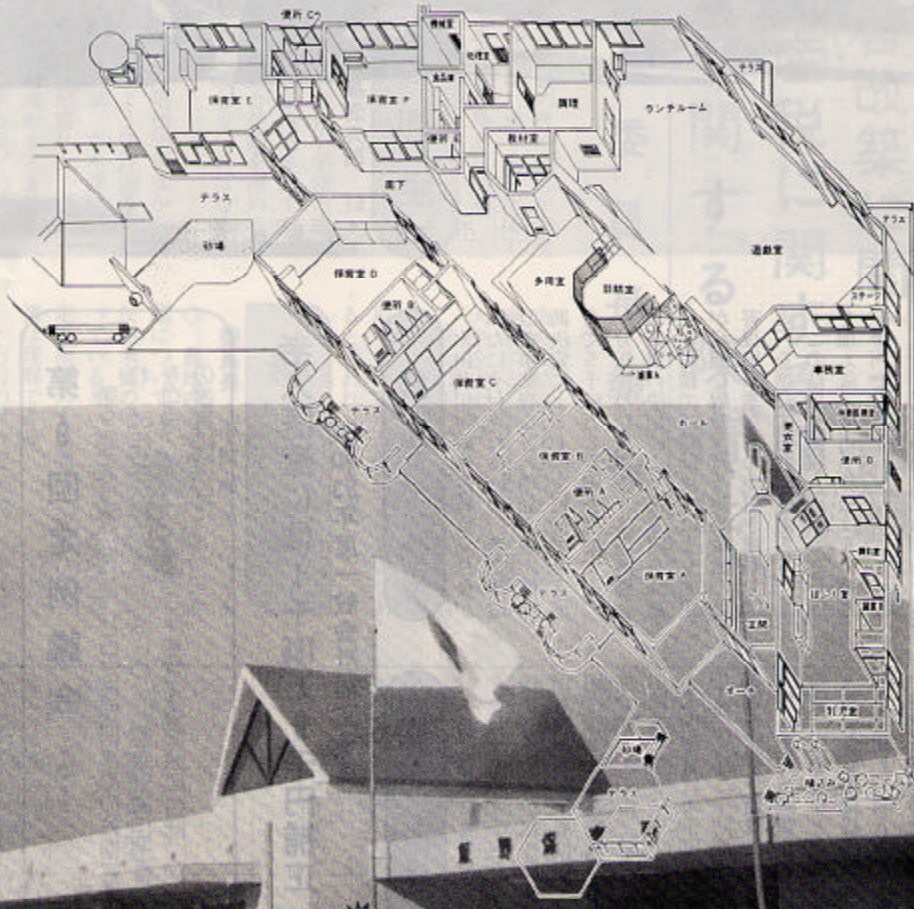
発行者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行 入善町議会議長 上野 幸一  
編集 入善町議会だより編集委員会  
印刷 田中印刷所

# 保育



完成した入善町立飯野保育所



# 除雪

出番を待つ除雪機械

# 対策に

## 1千221万8千円追加

### 第9回定例議会……

第9回定例議会は12月16日から20日までの会期で開かれ、52年度決算の認定をはじめ、一般会計補正予算などを可決、請願11件陳情3件を常任委員会に付託、閉会中の審査に付した。

### 老人医療には1千155万8千円補正

昭和53年度一般会計補正予算

#### 歳入

水田利用再編推進特別交付金が新たに交付されるほか、農業構造改善事業費などの増額、その他補助決定によるものを併せ国県支出金で5千83万2千円を増額する。分担金及び負担金では道路舗装事業費の決定により168万円を減額し、町債では補助決定により変更が必要な飯野保育所改築事業、災害復旧事業などの差引き増減で430万円を増額するものである。

この結果、諸収入の62万3千円を加え歳入補正予算額は5千968万5千円となる。

#### 歳出

人事院勧告による給与費と賃金を合わせ51万9千円の人件費を見積り、そのほか転作促進などの水田利用再編対策費に4千33万5千円、第2次農業構造改善事業の増加分80万1千円、豪雪に対処しての除雪対策費に1千221万8千円、老人医療費に1千155万8千円、麻しん(ハシカ)予防接種費として57万2千円、子備費については3千210万6千円を減額して給与費や除雪費、医療費などに充当する。

差引き歳出補正額5千968万5千円を増額し、歳入歳出予算総額を46億2千57万5千円とするものである。

### 固定資産評価審査委員会委員に

沖田修作君

昭和53年12月18日任期満了により再選

### 入善町選挙管理委員に

|     |      |     |    |       |
|-----|------|-----|----|-------|
| 竹内高 | 内原島森 | 保弘正 | 一郎 | 君(入膳) |
|     |      |     | 之  | 君(八幡) |
|     |      |     | 一  | 君(舟見) |
|     |      |     |    | 君(上原) |

### 入善町選挙管理委員補充員に

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 第1順位 | 若島助右エ門 | 君(福島)  |
| 第2順位 | 坂東賢    | 君(田ノ又) |
| 第3順位 | 金森源五   | 君(下山)  |
| 第4順位 | 塚田正藏   | 君(下飯野) |

# 人事

# 公共料金の値上げは

## 極力押えたい

### 一般質問

#### 公共料金の値上げを 考えているか

小林 与三雄 議員

問 昭和53年度予算の決算の見通しについて伺いたい。

町長 昭和53年度の一般会計の現計予算は46億2千51万5千円である。特別会計を合せて54億4千45万5千円となる。

一般会計全体の12月末の執行率は78%程度になると見込んでいる。投資的経費は、一般会計の48%で22億1千700万円の子算であるが12月現在の発注率は99%である。事業の進捗率は90%となる。出来得る限り経常経費を節約し積立金として明年度に繰越したい。歳入の伸びに見合う財政調整費



金の積立ての見込みは、町税の伸び分で6千万円、特別交付税の伸び分で4千万円、自動車取得税や重量税の伸びで2千万円等である。積立金の年度末現在高を3億3千万と見込んでおり、明年度予定している入善中学校建設に備えたい。

問 昭和54年度の子算編成にあたり、基本的な考え方、予算総枠、行政経費の節減についての具体策、公共料金のアップ、町税の伸びが純化の傾向にあるが現行税率を堅持出来るかどうか、公債は将来とも健全な水準を維持出来るか伺いたい。

町長 自民党議員会から申し入れのあった基本政策を尊重しながら、町民の皆様の要望に対処し、町総合計画を基本として予算編成にあたりたい。

行政の合理化については、一部業務を民間に委託する等人件費、物件費の節約をはかることや、補助金等の見直しも行いたい。公共料金は出来得るかぎり押えて行きたい。

しかし物価の値上り分として、保育料を5%以内、し尿くみ取り料については10%以内の値上げは止むを得ないと考えている。町債は投資的事業に欠かすことの出来ない財源であるが、不健全

問 わが町の道路事情は良くなっているが、旧の町村をつなぐ横の道路がかみ違いになっている等整備されていないが、具体的な改良策を考えているか。

#### 公民館建設に対する補助金増額

本田 幸光 議員

方線のかみ違った路線が相当数あることは事実である。ほ場整備による道路建設の際、それぞれの土地改良区が隣接土地改良区との連絡調整を充分に取り得なかつた点にあると考える。いつまでもこのまま放置しておくわけにも行かないので、関係土地改良区と相談の上話し合いのつ



問 入善中学校は、昭和54年・55年度において完了する。定められている生徒数に対する用地(2万㎡)は十分に確保されている。

統合上青小学校(仮称)については、地元住民の協力によって敷地が定まったならば、入善中学校と年度が重なっても先行投資を行う意志はある。

舟見中学校の存続は、地元住民の強い要望でありこの意志は尊重しなければならない。しかし町の中学校統合審議会の答申もあり、直ちに結論を出すことなく隣町の動向等将来の推移を見ながら対処して行きたい。

問 公民館建設に対する補助割合は、相当以前からすえ置かれていたものが増額する考えはないか。

町長 現在入善町では、10か所の地区公民館と86か所の部落公民館が設置されている。町では28年の合併以来公民館建設に補助を行なってきた。補助金については長い間率をすえ置いており、54年度から1千万円まで10%、1千万円を超える分には5%としたい。

いたものから逐次改良を進めて行きたい。

# 保育料を再検討する 考えはないか



九里 郁子 議員

問 老人家庭の屋根雪おろし、除雪工夫の確保と除雪費に対する補助を実施する考えはないか。

町長 老人家庭や母子家庭の屋根雪おろしについては、地域コミュニティの中でボランティア精神をもってやっていただきたい。

問 心身障害者、障害児に対する補助金の増額とホームヘルパーの定数化について所見を承りたい。

町長 寿楽苑の増築や心身障害者施設の建設への取り組みなど、大きな施策の中で老人問題、障害児問題をとりあげているので理解願いたい。ホームヘルパーの定数化は非常に困難である。

問 交通安全施設の整備強化を図られたい。

町長 本年度は農道だけでも交通安全対策として、デリネーター600本、安全さく1千m、止まれ標識90か所、カーブミラー12か所等2千50万円をかけ整備されているし、来年度においても道路整備と相まって進めて行きたい。

問 水田利用再編対策の総括と反省にたつて、54年度の指導方針を聞きたい。

問 居残り保育を更に充実したものにするために用務員を配置したらどうか。又保育料がこの3年間に50%の値上りをしていいるが、階層別に委員会審議を通じ、再検討する考えはないか。

町長 行政には財源枠があるのは当然であり、用務員の配置は困難である。保育料については国の基準に則り徴収しているため、適正なものと考えている。

問 義務教育での児童1人当りの父兄負担はいくらになっているか。又それを解消するための施策を聞きたい。

町長 義務教育での父兄負担の軽減については最善をつくしている。学校が随意に学習教材を業者から買ったりしているのは承知している。

実習費や図書費についてはそれなりの援助はしてきているし、父兄負担の軽減には積極的に努力している。

町長

再編対策の初年度で、この1年間は試行錯誤の中で経過したが、転作物の定着化に地道に取り組みれた農家もあれば、転作消化のための転作も多分に見受けたというのが実感である。

大豆、麦ともに補作所得に並ぶ所得が得られることが立証されたので、これをもとに今後の指導にあたりたい。又飼料作物については畜産農家と契約栽培の方向で積極的な指導に取り組み。夏そばについては、収益性について問題があり奨励すべき作物とはしない。

転作の長期化に対応するために栽培の集団化と、転作物の定着化に努力したい。

問 老人の生きがい対策として、高令者学級にバスの便をはかり、公園の清掃等実施する考えはないか。

町長 老人対策にはいろいろあるが、自発的な学習活動を行ない生きがいを見いだそうと努力されているので、官制の上から押しつけるものではないと思う。



元気な園児たち

## 議 会 日 誌



11月

2日 第8回入善町議会臨時会

6日 決算特別委員会

7日 決算特別委員会

8日 富山県町村議会議長会理事會(富山県市町村会館)

行政視察(石川県藤ノ木)

自13日 至14日 視察

17日 決算特別委員会

20日 全国豪雪地帯議会議長大会(東京)

21日 全国町村議会議長大会(東京)

24日 決算特別委員会

自28日 至29日 視察(石川県七尾市)

30日 産業建設委員会

12月

4日 文教厚生委員会

8日 総務委員会

9日 議会運営委員会

16日 議員全員協議会

第9回入善町議会定例会(第1日)

議会運営委員会

第9回入善町議会定例会(第2日)

20日 第9回入善町議会定例会

### 54年度の転作割当面積の見通しは

**町長** 入川堤防を道路として舗装で  
さないか。

**町長** 入川は2級河川であり、その河  
川の維持管理は県の権限と責任に  
おいて行われている。

管理者である県が舗装を実施し  
ない場合には、例えば県の承認を  
得てこの管理道路を町道に認定す  
る。認定にあたっては当然町議会  
の議決が必要である。

**町長** 池原 金与志 議員

54年度分の転作面積については  
今のところ何の指示も受けていな  
い。

転作田の条件整備は、県、町、  
土地改良区とで協議して、条件に  
合うよう整備して行きたい。

病虫草駆除については、農家の  
皆様には自分の田で自営するのだ  
という自覚をもって当って貰いた  
いし、実状を把握して対処したい。

町道に認定した上は、道路管理  
者としての維持管理責任、危険防  
止対策の責任がすべて町へ移って  
くる。

保安さくの設定、未舗装部分の  
路面整備、事故発生時の賠償責任  
などすべて町の責任になる。

さらにこれら舗装にも当然地元  
負担があり、この負担は誰がする  
か等のいろいろな問題もあるので  
検討を要する。



入川堤防を望む舗装

### 来年度の学校教育予算について



**町長** 祝聴覚教育の重要性から、16  
ミリ映写機を全校に配置できない  
か。又学校給食の燃料費を全額公

**町長** 石川 昭男 議員

費負担にするのが当然だと考える  
がどうか。

**教育長** 16ミリ映写機については、視聴  
覚教育の重要性から、早急に年次  
計画を立て全校配置にするよう努  
力して行きたい。

図書費の増額や燃料費について  
は、内容なり性格を調べてみて充  
分検討を加えてみたい。

### 除雪による二次災害の 対策如何

**町長** 大林 政雄 議員

**町長** 奨学資金受給者の中に、奨学  
金は当然の権利であるかのように  
思っている者がいると聞くが、受  
給者の進考基準と現況について伺  
いたい。

区別はしないが学業成績優秀で身  
体健康、品行方正な者で大学の推  
せんを必要とする。

奨学生は毎年2人選考するが、  
選考するときは入善町奨学生選考  
委員会にはかり、家計の状況等を  
調べて決めている。

貸与額は、月額1万8千円で年  
間3回に分けて出している。

卒業後は、20年以内に年賦又は  
半年賦等希望する方法により返済  
してもらおうが利息はとらない。

現在奨学生は9名で返済に入っ  
ている者が3名いる。



山本先生の尊いご意志は面接の

- 54年1月 (第3日)
- 12日 県議長会理事会(富山県市町村会館)
  - 16日 県議長会理事会(富山県市町村会館)
  - 24日 議会だより編集委員会
  - 25日 産業建設委員会
  - 29日 総務委員会・文教厚生委員会
  - 30日 議員研修会(県庁)

時には伝えてあるが、ご意志に反  
するような者がおれば注意をする  
なり、反省をうながすなり或いは  
打ち切る等対処したい。

高校生については、昭和53年度  
において5名の奨学生を選考し月  
額4千円を給与している。

**町長** 除雪による2次災害の対策に  
ついて聞きたい。

2次災害防止のために、舟見地  
区では果道朝日・宇奈月線の鉄板  
を敷き詰めた歩道兼流雪溝をコン  
クリートのふたに改め、一定の間  
隔でマンホールを設ける方式に改  
良した。

流雪溝の流末では、雪水がたま  
り浸水の原因となっていたが、引  
き続き流水の改修を行ない2次災  
害の防止に努力して行きたい。

一斉に雪を捨てれば雪水がつく  
ことは火を見るより明らかであり  
流雪溝の能力にも限度がある。

町内間の申し合わせにより時差  
を設けて流雪溝を使うなど、住民  
の皆様のご協力をお願いしたい。

64パーセント以上が  
他地区の高校へ



若島 信行 議員

町長

入善高校の学級増については、  
毎年のように県へ陳情を繰り返して  
いる。

県では県下を4つのブロックに  
分けている。

そのブロックごとの高校学級数  
は同率となっていないが、高校別の  
学級数が適正でないところに問題  
がある。

学級増については地元県議にも  
一層の努力を願い、町の悲願とし  
て根気強い運動を進めてまいりた  
い。

問 県立入善高校の普通科定数は  
20名と非常に少なく、入善町立中  
学校卒業生徒数の64%以上が他地  
区への高校進学を余儀なくされて  
いる。  
他の高校なみの収容定数を確保  
するためには、2・1・3学級の増設  
が必要だと考えるがどうか。



入善町の西方面にある入善高校

勤労者福祉センターの建設を



福沢 万次 議員

町長

鉄宿舎のすれすれまで伸ばして行  
きもつ1棟造るということで自  
車置場の問題は解決すると思  
う。

不用地については聞いていない。

問 農業用水路の三方コンクリー  
トやコンクリート製U字溝は地下  
水調査の妨げとなっている。  
設計面で充分考慮しなければな  
らないと思うがどうか。

町長

農業用水路の三方コンクリート  
やU字溝は、穴あきのものにする

町民1人1スポーツ  
けがのないように

岡島 松次郎 議員

高2千万円、1事故について2億  
円となっている。

補償保険にかかる保険金額は、  
死亡補償保険で200万円、後遺障害  
補償保険ではその程度により死亡  
保険金額の3%~100%となってい  
る。

入院医療補償保険金額は、入院  
日数5日~15日で1万円、16日~  
30日までは2万円、31日~60日ま  
で3万円、61日~90日まで4万円  
91日以上は5万円となっている。  
地区で行われる行事の場合には  
1日災害補償保険に加入するよう  
指導している。



問 本年度景気浮揚型予算の執行  
状況と波及効果について伺いたい。  
町長

町長

投資的経費には22億1千700万円  
かけたが、円高ドル安で内需が振  
わす一部建設部門を除いては投資  
の割に波及効果がなかったように  
思う。

問 総合計画では、54年度に駅前  
自転車置場の増設が予定されてい  
るが、現在予定されている用地で  
は充分余裕がないように思われる  
がどうか。

町長

又駅前用地の一部が不用地とし  
て国鉄本社に挙げられていると聞  
いている。

この駅前整備や都市計画代替  
地等に供するために、払い下げの  
折衝をしたらどうかと思うが考え  
を聞きたい。



駅前整備については、国鉄本社  
金沢管理局まで行って折衝してい  
る。  
とり、壊した貨物置場の跡に自転  
車置場を1棟造り、今ひとつは国

等検討している。  
問 老人福祉センターの建設を早  
められたい。

町長

建設することにはやぶさかでは  
ないが、これからは町の資金では  
なしに、例えば船舶協会とか自転  
車振興会といったところからの基  
金で、独立採算制とまでは行か  
なくとも社団法人でやってみよう  
という建て方をしてみたい。

町長

問 勤労者福祉センターの建設に  
ついて考えを聞きたい。

町長

近いうちになんとか財源が見つ  
かれれば建設したい。

# 舟見中学校校舎改築に関する請願 農地の固定資産税に関する請願 陸砂利採取に関する陳情は 継続審査

## 委員長報告

### 産業建設

委員長 五十里浅吉 11・30

◇ 付託された案件のうち、請願5件はいずれも道路の拡幅改良舗装に関する案件で採択すべきものと決定した。

当局はこれらの事業について緩急の度合を勘案し、財政の許すかぎりできるだけ早く住民の要望に応えていただきたい。

また上原用水改修、離岸堤建設の陳情については、国県の理解を得て早急に実施していただきたい。

陳情第5号陸砂利採取に関する陳情については次の理由により継続審査とした。

① 田畑で陸砂利を採取するには農地の一時転用に關する県知事の許可が必要であり、これを進達する入善町農業委員会と関連する問題であること。

② 同様の陳情が近隣市町へも提出されていると思われるので、その対処の仕方を見守りたい。

### 文教厚生

委員長 岡島松次郎 12・4

③ 採取した後の埋め戻しが完全でない場合には、地下水を汚染する等公害の発生が懸念される。

◇ 上原、青木統合小学校の建設は総合計画にも組み込まれており町全体の学校統合計画を進める上から是非実施しなければならぬ事業である。

総合計画では昭和56年度から建設に取り掛かるように計画されているが、既に上原、青木両地区では統合への気運が盛り上っているため、当局は敷地がまとまれば直ちに用地を取得するほどの積極的な心構えをしていただきたい。

入善中学校は道路と水路にさえざられ敷地の拡張が困難だと思つが、将来に悔いの残さないよう出来るだけ広い土地を取得するよう努力されたい。

舟見中学校は組合立であるため隣接町との政治的な関連も深く、

### 総務

委員長 本田幸光 12・8

◇ 農地の固定資産税に関する請願については、農家経済が稲作減反や米価の据え置き等で苦しくなっているという点で、農地の固定資産税のすえ置きを望まれる心情は理解できる。

一方町の財政的な面からみれば税率を押えることはそれだけ減収となる。国の税制の推移を見ながら、今しばらく時間をかけて審議していくべきだという意見が強く、継続審査とした。

寄付受入れをしたものは次のとおり。

| 寄付金品                       | 寄付目的                              | 住所             | 氏名                              |
|----------------------------|-----------------------------------|----------------|---------------------------------|
| 松1本 (20万円)                 | 入善町へ                              | 入善町入籍 560      | 富山日本電気株式会社                      |
| 教育学大書典 (5万円)               | 入善小学校へ                            | 入善町入籍 7777618  | 酒井 栄子                           |
| ビーチパラソル (2万3千200円)         | 飯野保育所へ                            |                | 53年度母の会代表<br>滝本 律子              |
| ハンドマイク (2万円)               | 青木保育所へ                            |                | 51年度母の会代表<br>柏井 慶子              |
| 壁掛型大時計(屋外用)及び子時計 (14万8千円)  | 入善町運動公園へ                          |                | 入善町体育指導委員協議会代表<br>永井 一男         |
| ゼロックス 1台<br>キャビネット (38万円)  | 入善中学校へ                            | 入善町上野 1155313  | 小林 淳介                           |
| グラントピアノ<br>椅子及び付属品 (100万円) | 入善中学校へ                            | 入善町入籍 5390     | 坂本 孝雄                           |
| グラントピアノ<br>椅子及び付属品 (100万円) | 入善小学校へ                            | 入善町入籍 5390     | 坂本 孝雄                           |
| チェーリアップ球根 (16万4千円)         | 入善町フラワーセンターへ                      | 入善町小摺戸 15660   | 長谷川 久義                          |
| ざざれ石                       | 入善町へ                              | 入善町福島 392      | 福沢 義秀                           |
| 金31万3千600円                 | 舟見コミュニティセンター<br>イ公民館敷地購入<br>入費として |                | 入善町舟見コミュニティ公民館建設委員会<br>代表 戸出元雄  |
| 洗米機 (20万8千円)               | 野山小学校へ                            |                | 富山県農業協同組合<br>中央会<br>富山県農協米穀対策本部 |
| 洗米機 (15万8千円)               | 野中小学校へ                            |                | 入善町農業協同組合                       |
| はんとろ棒 (5万8千800円)           | 舟見小学校へ                            | 入善町舟見 267811   | 舟見ベアリング株式<br>会社                 |
| 北方領土アピールタワー (80万円)         | 入善町へ                              | 魚津市村木町 8131    | 新川青年会議所                         |
| 体力測定器具 (23万円)              | 入善中学校へ                            | 富山市堤町通り 112126 | 財団法人北陸銀行<br>奨学助成財団              |
| 松1本 (35万円)                 | 入善中学校へ                            | 入善町日川 116      | 理事 長 富佐<br>本 津 富 佐              |
| カラテレレ20型1台 (16万4千800円)     | 西部保育所へ                            | 入善町入籍 774517   | 杉原 重信<br>前田 正行                  |

寄付者の御厚志に対し深甚なる謝意を表します。

# 精神薄弱者更生施設 ふじの木寮を視察して



小林 与三雄

先に下新川三町の精神者の親が組織する「手をつなぐ親の会」から「精神者の更生施設の設置」に関する請願がありました。

町議会はこれを受け関係機関に働きかけると同時に、その調査研究をすることとし、先陣は山形県の施設の視察を行なったが、これはあまりにも大規模なものであり、実現にはほど遠いものという報告がありました。

そこで今回は100名程度収容する中規模の施設ということで「ふじの木寮」を視察しました。

「ふじの木寮」は、金沢市郊外のすばらしい景観と環境の良い丘陵の頂にありました。

私達一行10名は、温厚慈父を思わせる寮長先生の丁寧な出迎えを受け、早速施設の概要を聞き、寮内を見学しました。

## 1 経営主体

社会福祉法人松原愛育会

## 2 規模

|       |           |
|-------|-----------|
| 敷地面積  | 6千32㎡     |
| 建物面積  | 1千40㎡     |
| 延べ面積  | 1千637㎡    |
| 収容定員  | 100名      |
| 3 総工費 | 1億4千300万円 |
| (内訳)  |           |
| 国庫補助金 | 4千800万円   |
| 県費補助金 | 3千841万円   |
| 市補助金  | 500万円     |
| 共同募金  | 70万円      |
| 借入金   | 5千万円      |

4 開設 昭和49年6月1日

ふじの木寮は、医学博士、松原病院院長松原太郎先生の尊い社会愛によって創設されたものです。他にもこの種の施設を3か所経営されています。

入寮は無料(国・県補助)で、現在の収容人員は、男58人、女37人で、年令は19才より58才までで30才代が全体の3分の1を占めています。

居室は4人部屋(約10畳)でベツトつきで、女性寮はやはりカラフルになっており人形等が飾られよく整理されていた。

高令者は畳の部屋が与えられている。指導員は生活指導と作業指導をする。

指導員には未婚の若い女性も数名おられるが、入寮者と指導員の間にはトラブルがないし、職業意識を越えた深い愛情がなければ務まらないということだった。残念なことには、入寮者が外出したとき心ない社会人が悪ふざけをするので困るといふことも話しておられた。

作業種目は農耕(しいたけ、野菜、桃の栽培)、コンクリートブロックの製造、簡単な電気部品の組立、クリーニング、その他であるが、一般の建設作業現場に通勤しているものもある。農繁期には、附近農家から農作業の手伝いをたのまれることもあり、作業のふんい気は明るくさわやかで暗さは感じられない。作業報酬として若干の日給が支払われている。施設の中には売店があり、日用品からトランジスタラジオまで販売している。スポーツやゲームを通じて運動能力や発語機能を高める、又対人関係や情緒の安定を図るための体育館もある。



寮生が作業をみる

入浴は週2回(夏は隔日)、月1回の奉仕による散髪もある。リ病率はやや高いが、附属の診療所があり週2回の松原先生の回診により充分治療できる。

以上メモを整理してみました。あいにく当日は雨で屋外作業は見学できませんでしたが、寮長先生の熱心な説明に施設の内容を詳しく知ることが出来ました。

私達はこの視察によってまずまず施設の必要性を感じると同時にこれが建設について強い決意をいだき、早期実現を誓いました。

「経営上いろいろと苦勞はあります。しかしいちはん大切なこと今必要なのは、社会の皆さんの温かい思いやりの心です。」この寮長先生のお言葉とお見送りをお祈りしながら雨に濡れる寮を辞しました。

## 編集 後記



よいお年をお迎えになられたことと思います。今年もよろしく願っています。

- 議会だより編集委員
- 上野 幸一 五十里 浅吉
  - 米島 一信 小林 与三雄
  - 本田 幸光 福沢 万次
  - 岡島 松次郎 岩場 俊